

豊丘村内発生土仮置き場(坂島)における環境の調査及び影響検討の結果並びに環境保全
に対する長野県からの助言と事業者の対応方針

長野県からの助言	事業者の対応方針
<p>1 事業計画 (1) 発生土仮置き場(坂島) (以下「発生土仮置き場」という。)の計画地は蛇川の近傍に計画されており、計画地の一部に河川保全区域や砂防指定地が存在するなど計画地への越流、浸水、土砂侵入等による影響が懸念されるため、本書において実施している環境保全措置に加えて、計画地及び周辺の地形調査を行い、影響の回避のために必要な措置を講じること。また、調査の結果及び講じることとした措置の内容を明らかにすること。</p>	<p>発生土仮置き場(坂島) (以下「発生土仮置き場」という。)計画地の一部は河川保全区域内にあるため、法令等に基づく手続きの中で盛土高さや盛土範囲を関係部局と確認したうえで、降雨による河川増水に対して、影響を回避できると考えております。また、発生土仮置き場計画地は砂防指定地区域外であることを事前に関係部局に確認しています。 なお、発生土仮置き場計画地及び周辺は、事前の現地踏査において、地形上問題ないと評価していましたが、それに加えて、蛇川対岸及びその周辺についても調査を実施した結果、主に更新世の段丘堆積物が分布しており、対岸側は一部露岩している部分があるものの崩落地形はなく、不安定化する要因は認められないことを確認しました。 これらのことから、越流、浸水、土砂侵入等による影響を回避できると考えております。</p>
<p>(2) 計画地は河川に近接しており、不安定な層が分布しているおそれがあるため、本書において実施している環境保全措置に加えて、地質調査を実施し、計画地の支持地盤の安定性を十分確保するために必要な措置を講じること。また、(1)を含め、調査の結果及び講じることとした措置の内容を明らかにすること。</p>	<p>発生土仮置き場計画地周辺の地形や災害履歴等を地すべり地形GISデータ等の文献により調査したうえで影響検討をした結果、土地の安定性に係る環境影響を回避できると評価しています(「豊丘村内発生土仮置き場(坂島)における環境の調査及び影響検討の結果について」(以下「影響検討について」という。))の「4-2-2土地の安定性」より)。 上記の調査及び影響検討に加えて、発生土仮置き場計画地において地質(ボーリング)調査を行った結果、新鮮な花崗閃緑岩からなる堅硬な地盤であることを確認し、当該計画地に不安定な層が分布していないことを確認しました。</p>
<p>(3) 要対策土の搬入に当たって、発生土仮置き場に存する発生土の搬出方法、発生土仮置き場におけるアスファルト施工等の具体的な工程について、環境影響を回避、低減する観点から明らかにすること。</p>	<p>要対策土の搬入を開始する際、発生土仮置き場計画地に既に発生土が存在する場合は、まずこれを発生土置き場(本山)計画地等へ搬出します。搬出する際は、車両の出入り口や周辺道路の清掃及び散水、タイヤの洗浄等を行うことで、環境影響の回避・低減に努めます。 既存の発生土の搬出後は、観測井を要対策土造成範囲を挟み込むように計2箇所設置します。それと並行して、要対策土盛土範囲の外周に浸潤水の敷地外への流出を防ぐ側溝を、さらに外側に雨水流入を防ぐ側溝を設置します。その後、盛土範囲の底面に遮水シート及びアスファルト舗装を敷設することで、要対策土の搬入が可能になります。これらの設備により、雨水等による重金属等の流出、飛散及び地下水浸透を防止します。</p>
<p>(4) 要対策土の追加搬入及び要対策土の転圧作業における遮水シートの作業手順について、要対策土の飛散流出防止に配慮した内容とし、当該手順を明らかにすること。また、要対策土に混入する岩塊や転圧作業による遮水シートの破損防止の方法を示すこと。</p>	<p>要対策土の追加搬入時には、日々の作業においてシートの開閉が発生するので、施工範囲を必要最小限にしたうえで、日々の作業終了時に、シートにより覆い、飛散防止や雨水の浸透を防ぎます。またその際には、シートの破損等の異常がないか点検していきます。 追加搬入・転圧が完了した時点で、要対策土範囲を遮水シートで全面的かつ確実に覆い、風雨等により飛散しないようしっかりと固定します。 要対策土の底面の遮水シートは、遮水シートの上下を保護マット等で養生することで破損防止に努めます。</p>
<p>(5) 要対策土は可能な限り速やかに処理を行い、仮置き期間が必要最低限となるよう要対策土の搬出先、措置方法等を具体化すること。</p>	<p>要対策土の搬出先は、引き続き検討していきます。要対策土については、自社用地内での活用や自治体から許可を受けた業者に委託するなど関係法令等に則り適切に処理を行います。 なお、自社用地内での活用については、遮水工を設置し周辺環境に影響を及ぼさないように封じ込めを行うなど適切な対策を実施します。</p>
<p>(6) 計画に沿ったモニタリングを確実に実施し、工事期間中の環境管理を適切に行うこと。また、関係機関と協議の上、緊急時に迅速な対応ができる体制をあらかじめ整備すること。</p>	<p>「豊丘村内発生土仮置き場(坂島)における環境保全について」(以下「環境保全について」という。))に記載のとおり、モニタリングを確実に実施し、工事期間中の環境管理を適切に行います。また、関係機関と協議の上、緊急時に迅速な対応ができる体制をあらかじめ整備し、「環境保全について」に記載のとおり、異常等を発見した場合には、連絡系統図に従い、関係各所に連絡を行います。</p>

**豊丘村内発生土仮置き場(坂島)における環境の調査及び影響検討の結果並びに環境保全
に対する長野県からの助言と事業者の対応方針**

長野県からの助言	事業者の対応方針
(7) 環境影響評価書作成時に調査、予測及び評価を行った項目について、現況に変化が想定される場合は、現況を把握の上、影響検討及び環境保全措置を行うこと。	工事前の確認調査及びその結果も踏まえ影響検討を行った項目である植物について、「影響検討について」に記載のとおり、影響検討及び環境保全措置を取りまとめました。また、工事にあたっては、「環境保全について」に記載した環境保全措置を確実に実施していきます。
2 水環境 (1) 発生土仮置き場からの排水について、虻川の水生生物を保全するため、亜鉛等の水産用水基準に配慮した水質管理を検討すること。また、放流先河川の漁業権を管理する下伊那漁業協同組合や河川管理者へ、排水に関して事前説明を行うこと。	工事に伴う放流水については、水質汚濁防止法に基づく上乘せ基準（長野県条例）を順守するなど水生生物への影響が出来る限り小さくなるよう努めます。 また、放流先河川の利水者の方々に対しては、これまでも工事概要や排水基準等についてご説明していますが、今後も必要に応じ、関係する皆様にご説明していきます。
(2) 発生土仮置き場の下流側における河川水質測定について、発生土仮置き場に起因する影響を把握できるよう、周辺の地形・地質構造を考慮して適切な地点を選定すること。また、必要に応じて上流側での水質測定を検討すること。	発生土仮置き場の下流側における具体的な河川水質測定地点については、現地の地形や地質等も考慮して適切に選定しています。また、「環境保全について」に記載のとおり、当該地点では要対策土搬入前に測定を行うとともに、工事中も継続的にモニタリングを行い、排水基準を超える等の異常が確認された場合には、上流側を含めて再測定を実施し、必要な環境保全措置を講じます。
3 動物、植物、生態系 (1) マツグミは地上からの確認が難しい種であるため、アカマツなどの宿主の伐採後に再度生育状況の確認を行い、生育個体が確認された場合は移植等の環境保全措置を行うこと。	マツグミは発生土仮置き場の周囲においても多数の生育を確認しており、生育環境は確保されていると考えております。また、工事前の確認調査の際、変更範囲内では生育個体が確認されなかったことから、移植等の環境保全措置は考えておりません。
(2) 発生土仮置き場の近傍でコウヤミズキの生育が確認されているため、仮囲いの設置に当たっては、日照障害による生育環境への影響を回避すること。	コウヤミズキの生育環境への影響を回避・低減するため、仮囲いの設置に当たっては可能な範囲で高さを低く抑えるよう、対策に努めます。
(3) 発生土仮置き場の周辺で希少な鳥類が確認されているため、繁殖への影響のおそれがある場合は、必要な環境保全措置を講じること。	事前に実施した鳥類の調査結果から、発生土仮置き場の工事による生息環境への影響は小さいと考えていますが、影響を可能な限り低減するため「環境保全について」に記載した低騒音・低振動型の建設機械の採用等の環境保全措置を確実に実施します。
(4) 緑化工を行う際は、地域の在来個体を使用するよう努めること。	工事後の当該箇所緑化については、地域の在来個体を使用するよう努めます。
4 その他 要対策土が生じた場合は、その都度、関係機関への報告及び地元住民への情報提供を行うとともに、必要に応じて仮置き場の管理状況についても報告、提供すること。	要対策土が生じた場合は、「環境保全について」に記載のとおり、環境保全措置を確実に実施するとともに、環境保全措置の実施状況やモニタリングの結果等については、年度毎にとりまとめを行い、県や村への報告と合わせて、当社ホームページへ掲載します。また、これ以外の関係機関への報告及び地元住民への情報提供の方法については、今後の状況に応じて、ご相談させていただきます。